

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		合志市体育協会活動支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原 哲也
	施策	20	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	中島 仁
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10822	法令根拠	スポーツ振興法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱		成果優先度評価結果：⑩ コスト削減優先度評価結果：③
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	合志市体育協会補助金の交付
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	合志市体育協会補助金交付事務
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
合志市体育協会への補助金交付事務		合志市体育協会への補助金交付事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 合志市体育協会員数	人	県民体育祭への派遣費の増加。
イ 合志市体育協会加盟団体数	団体	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市体育協会員	人	⇒ ア 合志市体育協会員数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
合志市体育協会会員に運動する機会を与える。	%	⇒ ア 会員が所属する団体が定期的に活動している割合
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
団体が定期的に活動することで、会員が大会等に参加し、運動する機会を得ていることになると考えられる。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア 人		2,400	2,400	2,550	2,500	2,550	2,550	2,550	
	イ 団体		18	18	19	19	19	19	19	
② 対象指標	ア 人		2,400	2,400	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	
	イ									
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	
	イ									
投 入 費 用 量	財 源	国庫支出金	千円							(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	4,500	4,758	4,572	4,572	6,161	6,161	
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	4,500	4,758	4,572	4,572	6,161	6,161	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	
		正社員従事人数	人	6	5	2	3	2	2	
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間		時間	9	9	9	53	9	9	0
	(B) 人件費計		千円	36	35	35	218	37	37	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	4,536	4,793	4,607	4,790	6,198	6,198	

事務事業名	合志市体育協会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度的事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒達成した ☐達成しなかった ⇒【理由】 各種目協会が効率的な運営を行っている。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 各種目協会が効率的な運営を行っている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐向上余地がある ⇒【理由】 ☒向上余地がない ⇒【理由】 年間行事は郡・県民体育祭が主な行事で未経験の市民が参加できる大会が少ないため、市主催のスポーツフェスティバルに参加を促し、市民が参加できる大会を行っている。さらには、各種団体が定期的に大会を開催していけば市民が参加できる機会が増え、成果は向上する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐他に手段がない ⇒【理由】 ☐統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒統廃合・連携ができない ⇒【理由】 将来的に総合型地域スポーツクラブとの連携、学校クラブ活動との連携が期待される。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐削減余地がある ⇒【理由】 ☒削減余地がない ⇒【理由】 20年度より各種目協会が負担金を納入し、協会運営するにしており、補助金削減に努めている。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐削減余地がある ⇒【理由】 ☒削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付が主であり、適正である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐見直し余地がある ⇒【理由】 ☒公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担の原則により20年度より負担金を納めてもらうようにしている。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐見直し余地がある ⇒【理由】 ☒役割分担は適正である ⇒【理由】 各種目協会が効率的な運営を行って、行政は補助金の交付事務が主である。

3 評価結果の総括（SEE）

*事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

各種目協会の運営に補助を行うことで、スポーツの振興ができています。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要） <table> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						

合志市